



# フォレスターうじ 会報

第285号

令和4年11月1日発行  
森林ボランティア  
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

## 十月定期活動

二十五周年記念事業・トテムポール製作

森の音楽会、わんさかフェスタの準備

活動日 十月十六日(日) 晴れ

活動時間 九時三十分～十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十五名 一日体験者一名

秋晴れで気温はグングン上がり二十七度を越えて、少し動くと汗が噴き出す陽気だった。

朝礼前の役員会で先月一日体験をされた大回さんの入会申し込みが承認された。仲間が増えて本当にうれしい。いつものように朝礼を行い、一日体験の小島さんと、森の音楽会で歌っていた京都文教大学アカペラサークル「L A \* L A \* L A \* L A」のメンバー六名を紹介した後、安全唱和、ラジオ体操を行って三グループに分かれて活動が始まった。

主だったメンバーは二十五周年記念事業のトテムポールの製作にかかった。早い人は既に彫りの仕上げに入り、年内に完成を目指している。深田会長以下四名のグループは宇治橋通り笑顔がいっぱいわんさかフェスタで行う丸太切り体験用のヒノキを運び出した。丸太切り体験で使わない部分も活動小屋へ引き上げ、皮むきを行った。ヒノキの香りがとても心地よい。学生のグループは大屋根休憩所で午後からの音楽会の準備を行った。彼らが持参したスピーカーは電源コンセントが合わずに使えないハプニングがあった。午後からは大屋根休憩所で「L A \* L A \* L A \* L A」によるコンサート。スピーカーがなく屋外ではせっかくのアカペラの声が発散するが、ボイス・パーカッションもあって幅広いジャンルで若い歌声を楽しむことができた。

フォレスターうじの森の整備、京都大作戦の森の整備ができなかったので、次回からしっかりと行いたい。(記 林 幸広)

## エッセイ

森の音楽会に出演して

京都文教大学 臨床心理学科深層心理コース 谷口 璃々花

今回は森の音楽会に私たちL A \* L A \* L A \* L Aをお呼びいただきありがとうございます。

普段とは違うこのように自然にあふれた場所で歌をうたえてとても気持ちよかったです。森林作業にも参加させていただき、とてもいい経験ができました。皆さんとても優しくあたたかく、森林作業も音楽会でのパフォーマンスも楽しむことができました。このような場に招待頂いたこと、心より感謝申し上げます。一緒に歌ってくださったこと、手拍子で一緒に音楽を楽しんでいたこと、とても嬉しかったです。

メンバー各位からの今回の音楽会・森林作業への感想を紹介させていただきます。

・普段ならあまり過ごすのではない多くの自然に囲まれた中で歌えてとてもいい経験になりました。また、巣箱をつける体験、帰り道で活動している内容についてなど森ならではのお話も沢山聞けてとても楽しかったです！

・普段生活する中ではやらないようなこともとてもいい経験になりました。豊かな自然の中で歌えて楽しかったです！

・日常では感じることでできない体験、森の中でアカペラを体験できたことをとても嬉しく思います。

・皆様がとても温かく迎えてくださり、楽しんで

で歌うことが出来ました。また、自然の中で様々な体験をさせていただき、貴重な時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございます。

・今回のような音楽会の経験がまだほとんどなくとても緊張しながらのアカペラでしたが、皆さんの暖かさで気づかないうちに緊張が楽しさになっていきました。音楽会だけでなく普段は体験しないこととして懐かしさと新鮮さでも楽しかったです。



(右) 10・16 森の音楽会と木工材料作りの手伝い



(下) 10/10 アクトパル秋のひろばで



(左) 10・22 わんさかフェスタで丸太切りとトンボ作り

### 十月臨時活動

アクト・パル秋のひろばに参加協力して

「どんぐりプロジェクト」

活動日 十月十日(月) 小雨混じり

活動時間 九時～十四時半

活動場所 アクト・パル宇治 屋外広場

参加者 会員四名 e.c.o.t.t宇治一名

来場者 十六組の家族

前日夕方よりの雨も当日朝まで残り、イベントが開催されるのかヤキモキし延期の連絡がない中で資材を積み込む。スタッフと共に現地へ到着した頃にすこし小雨に。色付き始めた桂の黄葉と甘い香りが迎え入れてくれた。空を見上げながらあたふたと設営が進む中資材を搬入、テーブルの位置・パネルとパンフを設置し人の動線を決めた。

受付は以前もやって貰ったe.c.o.t.t宇治のメンバー成井さんをお願いし、来客を待った。「ひろば」では小学生十八名による和太鼓の熱演や、来場者数二百万人突破記念の豪華景品が当たる抽選会で大いに盛り上がっていた。

時折雨が混じるなか、どんぐりプロジェクトに協力して貰ったのは十六組(宇治市内五、京都府八、京都府外三)と今年も市外客が多かった。コロナが収まらない中、ねだる子・ぐずる子・疲れて寝込む子・力強い演奏を披露してくれた子供達に改めて元気を貰った秋の一日でした。(記 新宮 邦春)

### フォレスタージュじからのお報せ

フォレスタージュじは新しい仲間を募集しています。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

### 十月特別活動

宇治橋通り笑顔がわんさかフェスタに参加して

「フォレスタージュじと一緒に樹木で遊ぼう」

活動日 十月二十二日(土) 晴

活動時間 十時～十四時半

参加者 会員九名

来場者 木工(トンボ作り) 子供四十二名

丸太切り 子供八名 大人四名

新型コロナ禍で中止が続いていたわんさかフェスタが晴天の下、三年ぶりに「実りの秋・復活祭！」をキヤッチフレーズにして開催された。本会のブースでは午前十時前に全員が集まり、トンボ作り、丸太切り、会員の作品販売の各コーナーを手際よく設営した。

十一時のフェスタ開始時刻前にはトンボ作りを希望する子供達が多数集まり、幕開けのオープニングパレードにも目をくれず、トンボ作りに集中する様子が微笑ましかった。

今年、トンボの台に飾りつける木の実等の部材が豊富であったため、子供ならではのユニークな飾りつけをした作品が多数出来上がり「上手に作ったネ」と感心させられた。

トンボ作りの盛況は、ブース閉鎖の十四時まで間断なく続き、コーナーが一杯で制作を諦めてもらったことが三、四回あったのが残念だった。

また、作品販売のほうも順調であった。  
※ブース開催中、元会員の矢野正義氏、木村定俊氏の  
激励訪問があった。(記 実行委員長 深田 和夫)



10/22 わんさかフェスタでトンボ作りに熱中

### 今後の活動・行事の案内

令和四年十二月以降の予定です。当月の定例活動の詳細は、「活動案内」でお知らせします。

十二月定例活動

十二月十八日(日) 天ヶ瀬森林公園

・二十五周年記念事業の継続

・ミニ門松作り体験会、市役所設置の門松の準備

十二月特別活動

十二月二十三日(金) 宇治市役所北玄関

・門松の設置作業

十二月臨時活動

十二月七日(水) アクト・パル宇治

・防鹿柵ネットの設置作業

(e.c.o.t.t宇治の事業に協力)

十二月十五日(木) 生長の家、天ヶ瀬森林公園

・門松用竹の伐採と運搬

森林ボランティア フォレスタージュじ

事務局

宇治市折居台二丁目一―五

木曾 宗統 方

TEL 〇九〇―九二七〇―〇七六三

### 編集後記

天ヶ瀬森林公園での活動以外の活動がようやく戻ってきた。街の中で森林公園や森林・山のことを木工体験などで市民の皆さんに啓発する活動はまた違った楽しさがある。特に子供たちが目を輝かせてどんぐりの実を植木鉢に蒔いたり、トンボの木工に必死になったり姿を見るとこちらも嬉しい。ぜひ森林公園にも足を運んでもらいたいと思う。

(会報担当 木曾 宗統)  
(写真担当 田中 一夫)

